

# Shin Club 12

（株）通信 Vol.12

March 2001年

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-24-4-7f

Phone: 03-3486-1570 Fax: 03-3486-1450

## 今月のトーク 「マンション・リフォーム」

老朽化したマンションのリフォームを行いました。今回のリフォームは、「ほんとに施工前、施工後がこんなに違うとは」と作った担当者たちが感激してしまったので、紙面でご紹介します。

佐藤様ご夫妻は、新婚4ヶ月。新居として綱島の3DKのマンションをリフォームすることになりました。ここは、昔ご主人のおばあさまがおすまいになっていた住居。人の入れ替わりが少なく、管理人が常駐しているという点、とくに組合もしっかりしているところが気に入っていました。そのおばあさまも他界されたため、若い世代が受け継ぐことになりました。しかし、築20年近く経つとやはり内装はかなり手を入れなくてはなりません。

なによりも、昔の間取りの使い勝手がよくないようです。特に玄関脇の部屋は、日も差さず、しめ切ってしまうととても暗かったので、このような閉じ込められた空間を無くし、すべての部屋が風通しを受けられるように、オープンな間取りをご希望になりました。最初は買った方がいいのではないかと迷われたお二人でしたが、いよいよ着工です。

2部屋続きの和室を取り払い、ダイニングと一続きにしてベランダ側にリビングスペースを広く取ったので、1階なのに明るさはぐんとアップし、またどの部屋にも風が通るようになりました。また外の植え込みのすぐ向こう側が東横線の線路なのにもかかわらず、防音性能が高い厚めサッシを採用したため、電車が通り過ぎる音は予想以上に静かです。ベランダにはウッドデッキが置かれ、ガーデニングの意欲もわいてきそうです。

リビングルームから、両側に建具を配した小廊下を通ると寝室。こちらは障子が落ちていた雰囲気を出しています。

「実は若い私たちはまだそれほど和風の家具・雑貨などは持っていないんです。でも洋風のお花を飾ってもすっきりした内装のせいでよく映えますね。」と奥様。室内はクリームがかった白で統一されているので、とても明るく広く感じられます。「これはアメリカで暮らしている主人の両親のアドバイスなんです。小さな家の場合白っぽい壁が絶対に広く見えるからって(笑)。大きな家なら、ダークな色彩の壁の方がステイタスを感じられますけどね。」

収納は新しい家具を買わなくてもいいように、天井まで有効に使える作り付けの建具を採用しました。以前と比べると、かなり収納スペースが増えて大満足とのこと。「始めは、180cm幅のクローゼットの中身をどう仕切るか、こちらは90cm、さらに60cmと30cm・・・と1週間くらい真剣に悩んだんですよ。」とおっしゃるお二人ですが、辰の担当者に、仕切りは、今便利で安いものがたくさん用意されているから、と言われて、気がついたそうです。「住んでみてわかることもあるので、最初からきちきちに決めなくてもよかったんですね」と奥様。

リビングのコンピュータのためのコーナーは、奥行きもゆとりがあります。コンピュータはこれからの家庭には必須条件の家具です。リビングの一番いい場所を占めるのは当然かもしれません。上段の棚の下部にレールを設け、スポットライトを配して、照明をフレキシブルに利用します。「これも私たちは、埋め込みのものをイメージしていたのですが、可動性のものを入れていただいて、あ、こういうのもあるなと感心しました。」ただ、最近はずいぶん薄型のモニターも登場してきています。「これほどの奥行きはそのうち必要なくなるかもしれませんね」とご主人は笑っていました。

そして、キッチン、共働きのお二人の協働スペース。以前のマンションはせまくて、手伝おうとすると窮屈で却って邪魔をするみたいだったというご主人は、結構お料理好きのようです。今度は二人で楽しくご飯を作ることができますね。

最後に経済的にみて今回のリフォームについてどう考えていらっしゃるかを伺いました。

「最近のマンションは80㎡を超えるものが多くて、このマンションは66㎡と少しせまいですが、うまくまとめたいていただけたと思います。このリフォームの金額でこのくらいきれいになったから、しばらくは次を考えながら貯金をしていくつもりです。子供が生まれれば、より広いスペースを求めて、引っ越さなくてはならないでしょうから、「終の棲家」というのではなく、2人の人生の1ステップだと捕らえています。」あとは、頼んでおいたダイニングテーブルが届けば、ほんとに新生活のスタートとなるそうです。

辰は、建て替え、新築を得意としていますが、これからは手直ししながら大切にしていける時代です。建て替えは、「究極のリフォーム」として捕らえるべきではないでしょうか。



## TOPICS

### 「H邸 上棟式」(2月24日) 渋谷区

お施主様は広告関係のお仕事をされているクリエイターです。地下1階はRC、地上1,2階は木造のお宅。雨の中での上棟式となりました。



### 「笹塚の家 竣工」(3月6日取材) 渋谷区

設計: ミリグラムスタジオ一級建築士事務所

鉄骨ALC造(3階建て)、ガラスの外壁がハイパーな雰囲気のお宅です。1階がオフィス、2,3階が住居部分。インターフェイスデザイナーのお施主様ご自身でこれから内装を手がけられます。コンセプトはシンプルでモダンなこと。建築の工業規格をうまく利用してスタンダードな建物にめざしたとのこと。ALCは予想以上に断熱性能が高く、日が差すと室内はほとんど暖房が要らないそうです。斬新なアイデアが夏までには形となって目の前に現れます。後日、またお話をうかがうのが楽しみです。



### 「a/ha house オープンハウス」(3月4、5日) 目黒区

RC造 地上3階  
設計: 青山玲 企画: IDEE

自由が丘の地で始まったIDEEと辰のコラボレーション、a/ha邸が3月はじめに竣工しました。お施主様のご好意により、ご入居前に建物をオープンハウスとして公開させていただき、建築設計の関係者の方々が多数訪れました。3階のキッチン、IDEEの提案。歯医者様である奥様は、お料理が趣味で、大勢のお友達をお招きするのが大好きだとか。建物の機能さえしっかりしていれば、細かいところは気にならないそうです。実はカメラマンのご主人の方が、全体のディテールにはこだわりが多く、もっといろいろと工夫したい箇所があったそうですが、時間切れというところでしょうか。1階のエントランスのガラスや、2階のルーバー部分は、室内に差し込む光が素敵です。逆に暗くなつてからは外からこの建物を眺めたい感じです。エレベーターも設置し、今後の生活をにらみながらの生活プランも各所に盛り込まれています。



## WHAT'S NEW

From this month's magazine

「青山・恵比寿・代官山、激戦区で流行る店」  
『ELLE DECO 4月号(No.53)』



青山、代官山などでヒットするショップを手がけている、インテリアデザイナーの、清野耀聖氏の仕事が紹介されています。弊社も「日の出食堂」などを施工させていただきました。

日の出食堂



「不動産のプロが認めた: 個性派アパートメント20選  
~こんな仕掛けが借り手の心をつかむ」

『日経アーキテクチャ 2001.3-5号』



人気の賃貸アパートのプランを不動産のプロが分析、住み手が求める集合住宅の魅力を紹介しています。弊社施工の「BALCON」が登場しています。

BALCON

